

## ワクチン情報ステートメント

# HPV (ヒトパピローマウイルス) ワクチン: 知っておくべきこと

Many vaccine information statements are available in Japanese and other languages. See [www.immunize.org/vis](http://www.immunize.org/vis)

多くのワクチン情報ステートメントは、日本語やその他の言語でご覧になれます。  
[www.immunize.org/vis](http://www.immunize.org/vis) をご参照ください。

## 1. なぜ予防接種を受けるのですか?

HPV (ヒトパピローマウイルス) ワクチン ある種のヒトパピローマウイルスによる感染を防ぐことができます。

HPV 感染は以下のような特定のがんを引き起こす可能性があります。:

- 女性の子宮頸がん、膣がん、外陰がん
- 男性の陰茎がん
- 男女両方の肛門がん
- 男性と女性の扁桃腺、舌の付け根、喉の後ろのがん(中咽頭がん)

HPV の感染は肛門性器のいぼを引き起こす可能性があります。

HPV ワクチンはHPV によって引き起こされるがんの 90% 以上を予防することができます。

HPV は親密な肌と肌、または性的接触によって広がります。HPV 感染は非常によく見られる感染であるため、ほぼすべての人が人生のある時点で少なくとも1 種類の HPV に感染します。ほとんどの HPV 感染は 2 年以内に自然に消滅します。しかし、時には HPV 感染はより長く続き、後年に癌を引き起こす可能性があります。

## 2. HPV ワクチン

HPV ワクチンの接種は、11 歳または 12 歳の青年がウイルスにさらされる前に確実に感染から保護されるように、定期的・的に推奨されています。HPV ワクチンは 9 歳から接種することができます、26 歳までのすべての人にワクチン接種が推奨されます。

HPV ワクチンは、患者と医療提供者の間の話し合いに基づいて、27~45 歳の成人に投与される場合があります。

15 歳になる前に最初の接種を受けたほとんどの子供は、HPV ワクチンを 2 回接種する必要があります。15 歳以降に最初の投与を受ける人、および特定の免疫不全をもつ若い人は 3 回の接種が必要です。詳細情報医療提供者はより多くの情報を提供することができます。

HPV ワクチンはその他のワクチンと同時に接種することもあります。

## 3. かかりつけの医療提供者と相談する。

ワクチンを接種される人が以下の様子の有無を予防接種提供者にお伝えください。

- HPV ワクチンの前回接種後に **アレルギー反応を起こした**、または **重度で生命を脅かすアレルギーがある**
- もし **妊娠中**—HPV ワクチンは妊娠が終了するまではお勧めできません

場合によっては、医療提供者が将来の訪問まで HPV ワクチン接種の延期を決定するかもしれません。

風邪などの軽度の病気の人には予防接種を受けられるかもしれませんが。中等度または重度の病気の人には、通常、HPV ワクチンを接種する前に回復するまで待つ必要があります。

かかりつけの医療提供者からはさらに詳しい情報を入手することができます。



U.S. Department of  
Health and Human Services  
Centers for Disease  
Control and Prevention

---

## 4. ワクチン副反応のリスク

---

- ・注射打たれた箇所の痛み、発赤、または腫れが、HPV ワクチン接種後に発生する可能性があります。
- ・ワクチンの接種後に発熱や頭痛が起こることがあります。

予防接種を含む医療処置の後に気を失うことがあります。めまいを感じたり、視力の変化や耳鳴りがある場合は、医療提供者に報告してください。

他の薬と同様に、ワクチンが重度のアレルギー反応、その他の重傷、または死亡を引き起こす可能性は非常に低いです。

---

## 5. 深刻な問題がある場合はどうなりますか？

---

ワクチン接種を受けた人がクリニックを離れた後にアレルギー反応が発生する可能性があります。もし重度のアレルギー反応（蕁麻疹、顔と喉の腫れ、呼吸困難、心拍数の増加、めまい、または脱力感）の兆候が見られた場合は **9-1-1** に電話し、その人を最寄りの病院にお連れ下さい。

その他、懸念される兆候がある場合は医療提供者に連絡ください。

副作用は、ワクチン有害事象報告システム (VAERS) に報告する必要があります。通常は医療提供者がこのレポートを提出しますが、あなた自身が提出することもできます。VAERSのウェブサイト [www.vaers.hhs.gov](http://www.vaers.hhs.gov) にアクセスするか、**1-800-822-7967** までお電話ください。VAERS は反応を報告するためのものであり、VAERS のスタッフは医学的アドバイスは提供しません。

---

## 6. 全国ワクチン傷害補償プログラム

---

全国ワクチン傷害補償プログラム(VICP) は、特定のワクチンによって負傷した可能性のある人々を補償するために作成された連邦プログラムです。予防接種による傷害または死亡の申し立てに関する請求には、提出期限があり、最短2年になる場合があります。VICP の Web サイト [www.hrsa.gov/vaccinecompensation](http://www.hrsa.gov/vaccinecompensation) にアクセスするか、**1-800-338-2382** に電話し、プログラムと請求の提出についてご参照ください。

---

## 7. どうすれば詳細を確認できますか？

---

- ・かかりつけの医療提供者にご連絡ください。
- ・お住まいの地域または州の保健部門に電話をしてください。
- ・ワクチンパッケージの挿入物と追加情報については、食品医薬品局 (FDA) のウェブサイトをご覧ください [www.fda.gov/vaccines-blood-biologics/vaccines](http://www.fda.gov/vaccines-blood-biologics/vaccines)。
- ・疾病対策予防センター(CDC)にご連絡ください。
  - 以下にお電話をするか **1-800-232-4636 (1-800-CDC-INFO)** あるいは
  - CDCのウェブサイト [www.cdc.gov/vaccines](http://www.cdc.gov/vaccines) をご参照ください

---

Japanese translation provided by California Department of Public Health, Immunization Program

